

2016年4月28日

報道関係各位

中部学院大学
経営学部

JA めぐみの包括連携事業

学生とお茶農家が白川茶の売上回復で地域おこしに挑戦

—新ビジネスモデル開発 in 美濃白川—

中部学院大学（学長 古田 善伯）は、めぐみの農業協同組合（代表理事組合長 岡田 忠敏、以下 JA めぐみの）との包括的連携協定の締結を受け、JA めぐみと本学経営学部の学生は、プロジェクトチームを立ち上げ、「学生とお茶農家が白川茶の売上回復で地域おこしに挑戦—新ビジネスモデル開発 in 美濃白川—」に取り組みます。具体的には、美濃白川茶の売上回復を目指し、新商品開発や売り方などの開発を行います。

加茂郡白川町と同東白川村の基幹産業である美濃白川茶は、2015年の売上が、ピーク時の1990年に比べ50%以上激減しています。農家所得の増加を目指し、JA めぐみの及び白川町、東白川村の自治体からの要請を受け、新ビジネスモデル開発事業が実現しました。今回は地域経済、農業の活性化に関する取り組みとして、学生が農家の所得増加に向けた農業経営のあり方などを研究し、地域活性化につなげていきます。

参加する学生は、経営学部3年（安藤信雄ゼミ生、男子6名、女子4名）。現地調査を行った後、5月～7月にかけて、新事業計画プラン案の作成し、8月には現地実験調査を実施。11月には自治体や農家へ新事業プラン案の提案発表を行う予定です。

記

■ 日時 2016年5月7日（土）10:25 ～ 5月8日（日）15:30

【7日（土）】

10:25～ JR高山本線白川口駅集合

JA めぐみの案内で、白川町・東白川村のお茶農家で、茶つみ（練習）、白川茶農業協同組合、ピアチェーレ美濃白川ふるさと館などを訪問取材

18:30～ 学生と農家の意見交換会

「美濃白川クオーレふれあいの里」宿泊

【8日（日）】

9:00～15:00

農家で「茶つみ体験」お茶生産の手伝い、緑茶加工施設（品評会専用施設・伝習センター）見学

【参考】

■JAめぐみの概要

- ・管内エリア＝関市、美濃市、郡上市、美濃加茂市、可児市、加茂郡（坂祝町、富加町、八百津町、川辺町、七宗町、白川町、東白川村）、可児郡（御嵩町）
- ・組合員数＝59,930人
- ・事業内容＝購買、販売、金融、共済、介護等農協法に定める事業

■中部学院大学の概要

大学院、大学4学部5学科、短期大学部2学科1専攻、通信教育部、留学生別科

- ・大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・大学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部
教育学部子ども教育学科
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科
経営学部経営学科
- ・短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）
- ・留学生別科

【中部学院大学とJAめぐみの締結】

中部学院大学は11月17日、めぐみの農業協同組合（代表理事組合長 岡田忠敏）と包括的連携協定を締結しました。岐阜県内でJAと大学が包括協定を締結するのは初めて。また、全国的にみてもJAと大学が連携するのは極めて珍しい取り組みです。

主な内容は、①地域経済、農業の活性化に関すること②高齢者福祉事業に関すること③講演などにおける講師の派遣に関すること④人材の交流、学生育てに関することの4点。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

【中部学院大学】 経営学部 経営学科（担当：安藤 信雄 教授）

TEL:0575-24-2211/携帯:090-2334-1955（安藤）メール: nobuo@chubu-gu.ac.jp

【JAめぐみの】 営農部 販売企画課（担当：山下、笹原）

TEL:0575-23-5896 メール:r-yamashita@jamegumino.gjadc.jp